

ヒロシマ音楽譜

作品が紡ぐ復興

⑧

爆心からわずか1キロ、奏者であったことでも善正寺のある広島市中区知られる。ホリデイの死寺町近辺はあの日、爆風後、彼女をしのんで製作による建物倒壊とその後された「レフト・アロー」の火災により壊滅状態であったという。建物と「ヤズ・ファンを魅了しにもに任職ら失ったそのた。

善正寺で、被爆50年目とウォルドロンがその詩なる1995年8月6に出会ったのは1993

マル・ウォルドロン

日、被爆後の長い道のりをうたう詩をもとにジャズのライブ演奏が行われた。

ニューヨーク生まれ、

ベルギーを拠点に活躍した世界的ジャズ・ピアニスト、マル・ウォルドロン(1925〜2002年)は、ジャズ・ボーカ

50年の節目 寺でライブ



善正寺でのライブに集まった伊藤笙ⓐ、マル・ウォルドロンⓑ、歌手のジーン・リー

される。ただし、あらかじめ作られたというよりも即興に近い。まさにその時、その場所で生まれた音楽だ。

この日のライブでは、やはり広島原爆投下になんだ「黒い雨」も演奏されている。こちらは音楽ばかりかテキストも即興に近かったようである。50年前のその日その地で消えた建物や魂が、ウォルドロンら奏者の体を通して発する声であったともいえるかもしれない。

詩に触発 魂のジャズ

年。原爆資料館に展示された世界的ジャズ・ピアニスト、マル・ウォルドロン(1925〜2002年)は、ジャズ・ボーカ

も歩き続けて、母も疲れノとフルート、それにボ

原由美